

平成 20 年度 海外研修報告書

日本リハビリテーション医学会 国際委員会 委員長 志波 直人
海外研修担当委員 花山 耕三

平成 20 年度日本リハビリテーション医学会海外研修助成による研修が終了したので、下記の通り報告する。

加賀谷 齊 (藤田保健衛生大学リハビリテーション医学講座)

訪問研修施設名：Johns Hopkins 大学

所在地：米国, Baltimore

研修期間：平成 20 年 12 月 10 日～13 日

訪問研修の成果：Palmer 教授を訪問し、摂食・嚥下障害のリハビリテーションについての discussion, 並びに機能的電気刺激についても意見交換した。世界の最先端の研究に触れることができて有意義であった。

長坂 誠 (東北大学大学院医学系研究科内部障害学分野)

参加会議名：第 22 回国際高血圧学会

開催地：ドイツ, ベルリン

参加期間：平成 20 年 6 月 15 日～20 日

発表演題名：Effect of low and high voltage electrical stimulation on angiogenesis for ischemic disease on hypertensive arteriosclerosis

発表の成果：今回われわれはラットの虚血モデルを用いて、電気刺激による血管新生の有無を調べた。結果、筋収縮閾値にかかわらず電気刺激による血管新生が認められることを明らかにした。そして電気刺激による血管新生療法の可能性について言及し、大きな反響を呼んだ。

海外研修印象記はリハニュース 42 号 (2009 年 7 月 15 日発行) に掲載予定です。